

第8回 仲間とともに作り上げた2分半

～ ダンス部全国大会出場 ～

8月16日にパシフィコ横浜国立大ホールで行われた第12回日本高校ダンス部選手権に出場したダンス部2年の野津さん(N)、荒川さん(A)、苺部さん(K)に話を伺いました。

4年連続の全国大会出場、おめでとうございます。夏休み明けの初日に、体育館でそのときの演技を披露してくださいました。多くの生徒の皆さんと、素晴らしい演技と一緒に見ることができました。皆さんの笑顔と魅力的なダンスに感動し、元気づけられた人も多かったのではないかと思います。どうもありがとうございました。この作品をどのような過程を経て仕上げたのですか。

最初に、部員全員で作品のテーマを話し合っ決めて決めます。今回は、皆で力を合わせて困難を乗り越えていくということ表現しようと思い、「トレジャーハンター」にしました。私たちの強みであるテキパキした動きも活かせるかなと思いました。

テーマが決まると、構成係のメンバー3人が2分半という制限の中で、テーマに合わせたダンスの構成や振り付けを考えていきます。

構成係など、部の中で役割分担をしているのですか。

代表、構成、衣装という3つの係があり、私たちは代表として、練習スケジュールの管理の他、作品の完成度を上げるために指導的な役割も担います。メンバーは皆、個性もあり、ダンスに対する思いが強いので、意見が異なることもあり、全体をまとめていくのは大変なこともあります。

特に、53期(現2年)14名は、多様な意見を持つ人が多く、最初は混沌としていて、今年も全国大会に出場できるだろうかと不安になることもありましたが、準備や練習を重ね、演目が仕上げられていく中で、同じ方向を見ることができたと感じました。おかげさまで、全国大会出場を果たすことができ、うれしかったです。

衣装係は、他のチームのステージなどを見て研究して、今回はこういう衣装にしようという提案をします。今回は途中で衣装替えを取り入れました。大会の評価項目に「ビジュアル」という項目があり、過去の大会成績を見ると衣装替えをしている学校の評価が高いので、取り入れました。また、旗や小物なども考えます。実際の作成は全員でやりますが、衣装係の人が完成の最終点検をしてくれます。



関東甲信越大会のことを聞かせてください。

8月8日、蒲田にある片柳アリーナで、関東甲信越大会が開かれ、42校が参加しました。そこで入賞（8位以内）することができ、全国大会に出ることができました。

（N）参加校も多く、かなり緊張をしていたので、全国大会出場が決まったときは、ほっとしました。

（K）52期の先輩方や、お世話になった先生方に恩返しというか、いい報告ができる、と思いました。

（A）私もですが、先輩たちが泣きながら喜んでくれて、頑張ってきて良かったと思いました。一方、関東甲信越大会のレベルがとても高いなと感じたので、全国大会に向けて頑張らなきゃなとも思いました。

8月16日、パシフィコ横浜での全国大会のことを聞かせてください。

全国大会に向けては、予選の反省を活かして、構成や細かい動きを確認しました。当日は、会場に入った瞬間から雰囲気は違っていました。全国大会に出場する学校は、気持ち、勢いがある、緊張感が高まりました。踊り切ったあと思ったのは楽しかったなという思いです。多くの人に見ていただける、このような大きな舞台に立てることはそうあることではないので、2分半楽しみながら踊ることができました。ビジュアル点は高かったのですが、テクニックが伸びなかった結果、51チーム中、37位でした。

優勝したのは大阪の学校でしたが、大阪の学校はどれも皆きれいにそろっていました。上位に入るような学校のダンスからは、メッセージのようなものを感じました。構成が工夫されていて片時も目が離せない感じです。また、息遣いからダンスにかかる思いを感じました。

次の発表の機会はいつですか。

9月の文化祭のあとは、1月の引退のステージになると思います。

ダンスを始めたきっかけはなんですか。

（N）小学生の頃からチアダンスをやっていて、中学生のときに、51期の先輩のダンスを見て、自分も光陵高校のダンス部で活動したいと思って今に至っています。

（A）私は小さい頃からミュージカルが好きで、自分もできたらいいなと思っていました。小学生の頃はダンスと合唱、中学生の頃は演劇をやっていました。光陵高校の文化祭でダンス部の演技を見て、こんなにきらきらしている高校生に自分もなりたいたいと思って、光陵高校に入学、ダンス部に入りました。

（K）私は中学までバレーボールをやってきて、それも良かったのですが、高校では新しいことに挑戦したいなと思っていました。部活動は、自分を高めてくれる、精神的にも強くなれるかなと思い、先輩のダンスを見てやってみようと思いました。

光陵高校を受験しようと思ったのは、ダンス部の存在が大きいのでしょうか。

(A) 私は親しくしている先輩が光陵高校のダンス部にいたということも大きいです。また、養護学校との交流があるということもあります。

(K) 学校の雰囲気が自分にあっているなと思いました。

ダンスの魅力はどんなところにありますか。

(N) 体を動かすことができるし、自分を表現できることが魅力です。

(A) 一緒に踊ることで仲間を感じられること、大切な仲間との出会いを得ることができることが魅力です。

(K) ひとつの曲で皆が踊れる、仲間と楽しい時間を共有できることです。

ところで、将来はどんなことをしたいか、聞かせていただけますか。

(N) 私はまだ漠然としていますが、人と関わる仕事がしたいなと思っています。

(A) やりたいことがたくさんあります。ディズニーキャストのように人に元気を与えられるような仕事もいいなと思うし、一方で、病気を抱える子どもの保育や養護教諭にも興味があります

(K) 自分の趣味を仕事にできたらいいなと思います。私は本が好きなので、それにかかわること、もしくは、人と関わる仕事がしたいなと思っています。

それぞれ自分のやりたいことを模索しながら、実現できるよう願っています。9月7日・8日の文化祭でのステージも楽しみにしています。今日は、どうもありがとうございました。